

平成29年度 定期総会 開催

5月28日、狭山市立中央公民館にて平成29年度定期総会が開催されました。

板屋捷子副会長の司会で始まった総会は、横山会長の挨拶の後、来賓の小谷野 剛 狭山市長からの祝辞、「高齢化が進んでおり、次世代への文化の引き継ぎが問われている。美術、音楽、茶道、いけ花、踊りなど日本人が育ててきた宝である。それぞれの文化の力を次の世代に受け継いで行ってほしい」、続いて、斉藤 誠 狭山市議会議長からは、自らの子ども時代の茶道体験を含め「昨年、議員達でお茶の作法体験をしました。今後もお茶の文化継承をしていきたいと思っております」と挨拶されました。今年度から文団連の市所管部門が市民部市民文化課に変更になり、市民文化課の中庭淑恵主幹にもご臨席頂きました。



新三役の紹介

定足数47人に対し、出席者40人、委任状27人で総会は成立。中内伊美子選任理事を議長に選出して議事に入り、まず平成28年度の事業報告と決算・監査報告が拍手で承認されました。続く議題の新年度役員・監査・顧問の改選に関しては、下記の新役員が満場一致で承認されました。次に、小川忠史新会長から組織変更と会則改訂に関する提案があり、事務局チームを廃止し三つの委員会を新設する原案が承認されました。続いて、平成29年度の事業方針・重点項目・事業計画案と予算案が承認され、全議案の審議が終了しました。

最後に、今年度で退任となった横山美衣前会長から、「全市的な文化団体にしたいと話し合いを始めた文化協会当時から、20年関わらせていただいた。長い間皆さまのお陰で無事務めて参りました。何とか土台を築くことができたかなと思っております。長い間ありがとうございました」との退任挨拶があり、無事に定期総会を終えました。

●平成29・30年度 役員・監査・顧問

- 会長：小川忠史
- 副会長：板屋捷子・竹迫ミナミ
- 会計長：張替絹子
- 事務局長：岸野智子
- 常任理事：板倉 巧・小川豊子
中村伶華・能川堅弥
藤寿紫峰
- 監査：村田昌弘・横山美衣
- 顧問：大野松茂・小高誠太郎



議案の審議

●新設された委員会

- ・芸術祭企画委員会：狭山市民芸術祭の企画を複数年に渡って検討し、立案する。
- ・渉外委員会：賛助会員の募集など、渉外業務の提案および実行
- ・会報委員会：会報の制作と配布作業

なおこれらの委員会には、文団連の理事以外に一般会員・文化ボランティアも参加できますので、より多くの方の参加が望まれます。

●平成29年度基本方針

文化活動団体を支援することによって、生き生きとした文化人が狭山にあふれることを目標とする。また市および関係各団体と協働し、狭山市が優れた文化都市になることを目指す。